



鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科
心理臨床学専攻 心理臨床相談センター

相談センターだより

第1号 2008.4.発行

平成20年4月から、鹿児島純心女子大学大学院「心理臨床相談室」は、鹿児島純心女子大学大学院「心理臨床相談センター」と名称を改め、新しいスタートを迎えました。

ごあいさつ

心理臨床相談センター長
久留 一郎

心理臨床相談センターは、相談活動を通じて地域社会の精神的健康に資するとともに、本学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻において臨床心理士の資格取得を目指す大学院生を養成するために設置されました。

これまで、対人関係に関すること、家族に関すること、こどもの発達（情緒やことば等）に関すること、その他トラウマによって傷ついた方々のご相談など、多くの方が様々なお悩みを抱き、来談されました。また、教師や保健師、保育士等の援助専門職に携わっている方々のコンサルテーション、スクールカウンセラーや臨床心理士のスーパーヴィジョン等も受け付けております。

相談スタッフは認定臨床心理士の資格をもった大学院の専任教員に加え、医師等の客員相談員、研修相談員、大学院研修生（大学院生）などから構成されています。

本学大学院人間科学研究科は、財団法人日本臨床心理士資格認定協会より、臨床心理士養成指定大学院（第一種）として認可を受けており、質の高い臨床心理士の養成に努めてまいりました。今後は、これまで以上に、地域社会の発展にも資することができればと考えております。

なお、平成20年9月から、「心理臨床相談センター」は薩摩川内市に移ります。鹿児島純心女子大学「川内キャンパス」（〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地）に、さらに充実した機能や設備を備えた新しいセンターが新設されます。

新たなスタートを迎えますが、これまでと変わりなく、みなさまと共に、よりよく生きていけるような「心理臨床相談センター」を目指していけたらと切に願っております。

一口メモ

「出しゃばらず、引っ込みすぎず、求められる臨床心理士に」

（日本臨床心理士会会長 村瀬嘉代子先生の言葉より）

- * 臨床家になり、少し自信がついてくると、「天狗」になったり、誇示したくなったりします。逆に、自信がなく、引っ込み過ぎて萎縮してしまっても、相手を不安にさせてしまいます。
- * 本学大学院では「出しゃばらず、引っ込みすぎず、、、」という絶妙なバランス感覚を大切に、「求められる」臨床心理士を目指しています。

文責：相談員 餅原 尚子